

富山シティエフエム

令和5年度第5回～8回番組審議会（合同開催）

1. 開催日時

令和6年3月21日（木）午後3時～

2. 開催場所

富山市安住町2-14 北日本新聞社10階会議室

3. 出席委員

委員総数6人

出席委員5人

出席委員の氏名（◎委員長、○副委員長）

◎徳永 洋介（富山大学教授）

○大井 秀樹（富山商工会議所中小企業相談所長）

栗山 朋子（富山市企画管理部広報課長）

下坂 晃司（富山青年会議所元副理事長）

澤 聡美（富山大学准教授）

放送事業者側出席者

中田 洋志（富山シティエフエム常務取締役）

小原 源（同 放送部長）

水上 啓子

川田知恵美

4. 議題

①「星の地図を広げて」

放送：2024年2月8日（木）10時00分～ほか 30分録音番組

【番組内容】

星槎国際高等学校富山学習センターの生徒が出演し、学校生活の様子、様々な活動などを紹介する番組。提出回は1月20日（土）に開催された学校の冬企画「キジをさばこう」の様子。「冬企画」は先生が発案した様々な活動に取り組む。担当した朝日先生は狩猟免許を持ち、狩猟を行っており「命をいただくこと」について考えてほしいという思いで開催した。理科の補充扱いでもあり「動物の体の作り」や「キ

ジの生態」について学んだあと、生徒たちは朝日先生が捕ってきたキジの毛をむしった。そして先生がさばく様子を見学。体験した生徒もいた。

【委員の意見】

生徒の生の声、リアル感のある受け応えがとても印象的だった。特色ある学校であると知ることができた。鳥をさばく様子を伝えることを事前に告知するなど配慮があったのが良かった。「キジ」について、昔からの人とのかかわりなどの説明があるとなお良いと思うが欲張りすぎか。

②「学生と未来を語るラジオ2023～この街で叶えよう～」

放送：2023年11月23日（木・祝）14時00分～ 2時間公開生放送

【番組内容】

まちづくりやボランティアに取り組む学生と、ゲストが「この街でかなえたい思い」を語り合い、参加者やリスナーが富山の未来にワクワクする時間を提供することを目指して、富山市荒町にある地場もん屋食堂 fil を会場に実施。レギュラー番組「ヴィゴールの広場」に出演する4団体6名が参加し、社会人ゲスト（富山市ガラス美術館土田館長）などを招いて仕事やライフスタイルについてトークした。最後は「この街でかなえよう」をテーマに、今、かなえたい思いを発表した。

【委員の意見】

街づくりや未来像について関心のある学生が多数出演し、こちらも元気になれた。こういう若者がいるなら街の未来も明るいと感じた。パーソナリティが間に入ることで聞きやすい放送だった。もう少し未来像が具体化するとより良くなる。

③ジャズシティ

放送：2023年12月31日（日）18時00分～ほか 1時間録音番組

【番組内容】

富山のジャズベーシスト岡本勝之さんが届ける番組。年末年始にはジャズで綴る「紅白歌合戦」を恒例放送している。今回はデュエット企画とし、11組の男女ペアの名演を届けた。

【委員の意見】

長寿番組でパーソナリティがこなれており、曲紹介の分量や情報部分のセレクトなどが丁度良い。音楽があるとホッとできることを改めて感じた。ジェンダー平等などの観点も考えているのか、選曲の仕方もバランスが良くとても心地よかった。

④地震発生時の緊急放送

放送：2024年1月1日（月・祝）16時10分頃～

【番組内容】

元日に発生した R6 能登半島地震の揺れ直後から行った緊急放送。当直スタッフが発災と同時に放送を開始。約 1 時間後に別スタッフが到着し 2 人体制に。通常番組や CM は飛ばしたうえで、11 時頃まで揺れの状況、避難時の安全点などを伝えた。

【委員の意見】

揺れの中でも一定程度落ち着いたアナウンスは安心感があった。限られたエリアの中での放送にはとても意義を感じる。SNS では登録している人にだけ情報が届くため、多メディアでの情報発信が求められる。被災状況想定イメージをさらに膨らませて、安全安心に繋がる情報を提供して欲しい。

以上